

# 東海聖会報

## 「良い忠実なしもべ」

インマヌエル聖宣神学院長 植木英次

よい説教者はよい会衆を作り、よい会衆はよい説教者を作ると言われます。ある日の説教のあとで、「忠実と熱心の違いは何ですか」という真実な質問を受けました。説教の中で、「自他共に認める熱心なクリスチャンであっても、忠実なクリスチャンでないことがあります。主の御心に忠実でない自分を、熱心さでカムフラージュすることがあります」と語ったからです。率直な質問によって更に考えを深める機会を得ました。

私たちが天国に迎え入れられる時に受ける最高の言葉は、「よくやった。良い忠実なしもべだ」ではないでしょうか。忠実であることは、イエスさまに従う者にとって一番ふさわしいことです。ヨハネは黙示録1章5節で、イエスさまを「忠実な証人」と呼んでいます。殉教者が出るほどの迫害下にある教会に向けて、私たちの主は「忠実な証人」でしたと示しています。ご自分を遣わされた御父に忠実であられたイエスさまは、十字架の死に至るまで忠実であられました。殉教者たちは、このイエスさまに忠実に従ったから、主と同様に死に至ったのです。殉教者にとっても、地上で信仰の戦いの中にいる私たちにとっても、イエスさまの御足のあとに従うことは光栄です。「忠実な証人」でしたイエスさまは、十字架の死に至ったのみならず、「死者の中から最初によみがえられた方」でもあります。私たちは、「最初によみがえられた方」に従って、天の御国へ迎え入れられます。ちょうど「聖者の行進」の歌詞のように、主にある聖徒たちが天国に迎え入れられるとき、私もそこにいることを待ち望んでいます。

### 「熱心」と「忠実」の違い

私たちクリスチャンにとって熱心と忠実の違いはなんでしょうか。日本語で「熱心」と訳されていることは、新約聖書中にいくつもあります。「急ぐ、せき

立てる、切望する」という意味を持つ熱心さや、「全力を注いで」という意味合いの熱心さ、「信心深い」という意味の熱心さや、「喜び進んでしようとする」という意味の熱心さなどが様々な表現の中で用いられています。この他に、熱心さを表す一般的なことばでゼーロスがあります。このゼーロスは、良い意味では熱心(ゼラス)を意味し、悪い意味では嫉妬(ジェラス)を意味します。炎のようなゼーロスは、方向性次第では神の栄光を顕すことにもなりますし、神の御顔を曇らせることにもなります。「熱心さ」には、主が喜ばれる方向性が必要です。「あなたの家を思う熱心がわたしを食い尽くす」(ヨハネ2:17)、「あの人々の熱心は正しいものではありません。」(ガラテヤ4:17)、「その熱心は知識に基づくものではありません。」(ローマ10:2)などは、神さまの御心に副わない熱心を示しています。主の栄光を顕す熱心さは、主の御心に副った熱心さでなければなりません。すなわち、忠実さがその根底になければなりません。

忠実を表す言葉はピストスで、受動的に「信頼に耐える、当てになる」という意味で真実、忠実を表します。この言葉が能動的に使われるときは、「信仰をもっている」というように信仰者を表します。

### 「良い忠実なしもべ」の条件

御心に副った忠実な者として歩むためには、個人的に主の御心を知ることが不可欠です。その為にはまず、明確な新生経験を心得、聖書をとおしての神さまの語りかけや、聖霊の語りかけ、摂理をとおしての神さまの導きを知る者でなければなりません。クリスチャンは、み言葉によって新しく生まれ、み言葉によって育ち、み言葉によって導かれます。明確な新生経験を持っていませんと、聖書のみ言葉は人生訓として知識の域を越えません。さらに、聖霊による導きや語りかけに応答することや、神さまが支配されていらっしゃる摂理を知ることになると、明確な新生経験を心得神の子とされていなければ全く理解できないことでしょう。聖霊による新

生を経験していない人にとっては、聖霊の語りかけや摂理の導きなどは極めて主観的な感情の産物としか捉えられないことでしょう。「良い忠実なしもべ」には、神さまの御心を知るための根本的な関係、すなわち新生によって神の子とされる経験が必要です。

次に、神さまの御心を知ったならば、それに副って歩もうとする従順な心が必要です。ところが、神さまの御心を知ることができて実行する力と意志に欠けていることに気づかされます。私たちが自らの頑

張りで何とかしようとする自己本位の生き方を止めて、全面的に主に頼ろうとすると、主は聖霊によって私たちをきよめて下さいます。心から主を愛し、主によって「どんなことでもできるのです」(ピリピ3:13)と告白する者へと変えて下さいます。忠実な僕に必要な性質が与えられて、「良い」僕にして下さいます。

「良い忠実なしもべ」は、心と生涯がきよめられ、神さまの御心を知って、御心に副いながら主の栄光を顕すクリスチャンの姿です。

## 恵みに感謝して — 遠州聖会の報告 —

遠州聖会 事務局 小林悦治

(ウエスレアン・ホーリネス教団 浜松ウエスレアン伝道所)

第13回目の聖会は、竿代忠一先生(インマヌエル磐田教会牧師)をお迎えして2009年2月22日、インマヌエル浜松教会を会場にもたれました。出席者144名、6団体、9教会の参加でした。

今年も浜松ホーリネス教会の青年バンドが特別賛美のご奉仕くださり、賛美をリードしてくださいました。竿代先生は、「キリスト者の完全」と題し、マタイ22:34-40を通して切々と語ってくださいました。先生は、先ずジョン・ウェスレーの生涯、その人となりから語ってくださいました。

そして、マタイ福音書から「キリスト者の完全」-(聖書的ホーリネス=きよめ)は、何で無いかということ、何であるかということ为例話を用いて分かり易く語ってくださいました。

何であるか、それは動機の完全(その心根)、私の全存在をあげて神を愛するということを教えられました。

この完全に届くための道、それは全き献身・そして御言葉への単純な信仰であると教えられました。そして、この恵みを維持し、完成をめざして進むために今回は3つのことを教えられたのです。(アンケートに有り)

一人ひとりが、先生を通して語られたことを受け止め、主の御前に心から祈り、悔い改め、新しい歩みを始めた時でした。

多くの方々がアンケートに受けた恵みを記していますので幾つかを載せます。

・朝のデボーションの時を保ち、きよめの生活を保ち続けたい。(20代女性)

・毎日 きよめの信仰に立てばよいということがわかった。(30代女性)

・キリスト者の完全というものを心から信じ、求めていきたいと思った。(30代女性)

・罪深く、失敗しやすいものだがきよめの恵みの維持について、分かり易く教えて頂けた。①原点に立ち返る②光に従う③間断なく血潮を仰ぎ続ける実践し、きよめの恵みの中に生き続けたい。

(40代男性)

・あなたに献げますと言った事は、今も変わりありませんと、原点に立ち続ける事を教えられ、又、単純に信じる事が分かりました。(40代女性)

・今まで以上に主に信頼し、従って、日々を成長させて頂きたい、感謝でした。(40代男性)

・主の御愛を信じ続け、主の恵みの中に歩ませていただきます。(40代女性)

・具体的にきよめの恵みを継続する手段を示して下さいました。良かった。(60代女性)

聖会后、先生を囲んで交わりの時をもちました。さながら、きよめの証詞会のようなものでした。

また、「この恵みを尚更、確信を持って語り続けていきましょう」とのお言葉を頂き、次回への歩みを始めました。

## 学びと研鑽 「女性教職者の喜びと課題」

2009年2月23日に、東海聖化交友会総会が基督兄弟団一宮教会で開かれました。午後は、「女性教職者の喜びと課題」と題して学びと研鑽の時間が持たれました。

この学びと研鑽に先立ちアンケートを東海地区の諸教会にお送りしましたが、男性19名、女性21名の回答をいただき心より感謝しています。

証し下さったのは、毛戸麗子先生(基督兄弟団・名古屋教会牧師夫人)、内山範子先生(インマヌエル名古屋教会牧師夫人)、布能香先生(基督兄弟団・扶桑教会女性牧師)の三人です。

毛戸麗子先生は、牧会50年以上の経験を通して、子どもたちのために神様に祈り続けてこられたこと、教会と家庭の両立のために心を用いられたこと、何人かのお子様は直接献身され牧師になられたことなどをお話くださいました。内山範子先生は、牧師夫人の立場の難しさとともに「教会のお母さん」として女性ならではの立場と働きがあることを語ってくださいました。布能香先生は、お一人での働きを通して、神様が恵みを備えて下さること、自分で気持ちを切り替えながら、リフレッシュしたりして気をつけていることなど話してくださいました。三人の先生かたの経験や立場は違いますが、働いておられる神様の豊かな恵みを覚えて聖名を崇めました。証しのあとには質疑応答の時も持たれました。

アンケートの結果から、以下のことをまとめてみました。

### 1、男性、女性教職者ともに共通していたこと

#### ①既婚、独身問わず、女性教職者に対して

- ・女性の賜物を活かして、男性には届かない働きを担っている。
- ・女性の立場から、弱い者の立場からの配慮と働きがある。
- ・無理をしないこと。

#### ②独身の女性教職者に対して

- ・防犯を含めた心身の安全

#### ③既婚の女性教職者に対して

- ・教会と家庭の両立の大切さ。夫婦、家族、お互いに一致して助け合うこと。

### 2、男性、女性教職者と大きく違っていたこと

#### ①女性教職者アンケートからは

- ・既婚している女性教職者も一牧師であり、みことばに仕えていきたい。

#### ②男性教職者アンケートから

- ・男性教職者の良い理解者、助言者であって欲しい。

神様にあって召された者であること確かさと、女性ならではの配慮、心遣いなどは神様からの賜物として感謝を持ってもっと多くの面に心を用い仕えてまいりたいと思いました。

最後に、プログラム全体責任を担ってくださった檀原久由先生のご助言をいただき、この学び会が祝されたことを記して報告を終わります。

(文責 内山繁実)

## 2008年度東海聖化交友会 会計報告 ・ 総会で選出された新役員

収入		支出	
2007年度繰越	215,479	講師関連	172,450
会費	72,000	通訳者関連	20,000
聖会献金	291,870	奉仕者謝礼	10,000
一般献金	53,500	聖化協力会分担献金	58,550
記念誌献金	54,300	講師渡航費分担	18,339
ハリマン夫人指定	81,130	クリスチャン新聞広告	20,000
雑収入	3,400	会場費	40,000
利子	313	JHA全国協議会	20,000
小計	556,513	会議費	61,980
合計	771,992	事務通信費	44,099
		竿代師送別会	10,783
		ハリマン夫人へ	81,240
		慶弔費	39,530
		雑費	0
		小計	596,971
		次年度繰越	175,021
		合計	771,992

去る2月23日に、第22回総会が基督兄弟団一宮教会を会場に開催されました。新役員(任期2年)は以下のとおりです。  
 会長/松浦剛 副会長/小田満 書記/秋山直光 会計/関昌宏  
 広報/石田聖実 学び/檀原久由 役員/布能香 会計監査/佐藤道直  
 遠州支部/小林悦治 顧問/毛戸健二、竿代信和  
 また3月9日には、日本聖化協力会全国評議員会に松浦会長が東海を代表して出席しました。

## 第16回

# 東海聖会

テーマ「**良い忠実なしもべ**」

講師 **植木英次師**

18才の時、インマヌエル丸の内中央教会（現在のインマヌエル中目黒教会の前々身）で救いに与る。

22才の時、インマヌエル聖宣神学院に入学。卒業後、姫路教会を開拓し7年間の牧会の後、24年間ジャマイカ宣教に従事する。その間ミシシッピーのウェスレービブリカルセミナリーに学び、ジャマイカのカリビアン・ウェスレアン・カレッジの学監として、また学長代行として奉仕する。

2006年4月より、インマヌエル聖宣神学院々長をつとめ、今日に至る。一男二女の父。



とき

2009 6 | 27 土 2:30PM

28 日 2:30PM

ところ

活ける  
キリスト

一麦教会

名古屋市名東区亀の井2-102

☎ 052-701-4221

今年も例年のように6月下旬に開催されます。恵みの雨が豊かに注がれる時となることを期待しつつ、ご出席ください。（席上献金のときがあります）

東海聖化交友会

〒453-0053 名古屋市中村区中村町7-46

福音センター

☎ 書記 / 0562-97-6468

